有明工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	ボランティア活動

科目基礎情報

科目番号	0035	科目区分	専門 / 選択
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気工学科	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員	髙松 竜二		

到達目標

１．ボランティア活動を通じて社会の一人としての自覚を持つことができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	ボランティア活動を通じて社会の一人としての自覚を積極的に持つことができる。	ボランティア活動を通じて社会の一人としての自覚を持つことができる。	ボランティア活動を通じて社会の一人としての自覚を持つことができない。
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 A-2

教育方法等

概要	ボランティア活動を通じて、社会の一人としての自覚を持ち、自然や社会との係わりの中での技術者としての役割を自覚することを目指す。
授業の進め方・方法	ボランティアの機関は、関係団体の提供のほかに次に掲げるものとする。 （１）環境保全に関するもの （２）災害における救助及び復旧活動等に関するもの （３）身障者・老人などの介護に関するもの （４）国際交流に関するもの （５）地方公共団体等が主催する体育・文化などの行事に関するもの （６）その他校長が認めたもの ボランティア活動に従事する学生は、以下の手続きに従うこと。 １．ボランティアに従事する学生は、実施する日の１５日前までにボランティア活動許可願（様式１号）を学級担任、学科長を経て学生課教務係に提出すること。 ２．ボランティアに従事した学生が単位認定を希望する場合は、次の書類等を学級担任を経て学生課教務係に提出すること。 （１）ボランティア活動証明書（様式２号） （２）ボランティア活動日誌（様式３号） （３）ボランティア活動報告書（様式４号）
注意点	従事した総時間数が45時間以上（複数の活動の合計でも可）で、提出されたボランティア活動証明書、ボランティア活動日誌およびボランティア活動報告書に基づき審査し、必要に応じて面談をおこなったうえで、評価をおこなう。 単位修得は合否による。評価は５段階評価で行い、３以上を合格とする。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ボランティア活動	活動を実施できる
		2週	ボランティア活動	活動を実施できる
		3週	ボランティア活動	活動を実施できる
		4週	ボランティア活動	活動を実施できる
		5週	ボランティア活動	活動を実施できる
		6週	ボランティア活動	活動を実施できる
		7週	ボランティア活動	活動を実施できる
		8週	ボランティア活動	活動を実施できる
	2ndQ	9週	ボランティア活動	活動を実施できる
		10週	ボランティア活動	活動を実施できる
		11週	ボランティア活動	活動を実施できる
		12週	ボランティア活動	活動を実施できる
		13週	ボランティア活動	活動を実施できる
		14週	ボランティア活動	活動を実施できる
		15週	ボランティア活動	活動を実施できる
		16週	ボランティア活動	活動を実施できる
後期	3rdQ	1週	ボランティア活動	活動を実施できる
		2週	ボランティア活動	活動を実施できる
		3週	ボランティア活動	活動を実施できる
		4週	ボランティア活動	活動を実施できる
		5週	ボランティア活動	活動を実施できる
		6週	ボランティア活動	活動を実施できる
		7週	ボランティア活動	活動を実施できる
		8週	ボランティア活動	活動を実施できる
	4thQ	9週	ボランティア活動	活動を実施できる
		10週	ボランティア活動	活動を実施できる
		11週	ボランティア活動	活動を実施できる

		12週	ボランティア活動	活動を実施できる
		13週	ボランティア活動	活動を実施できる
		14週	ボランティア活動	活動を実施できる
		15週	ボランティア活動	活動を実施できる
		16週	ボランティア活動	活動を実施できる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	100	0	100